

1 単元について

対 象 学 年	中学校 第2学年
学 習 指 導 要 領	第2学年の内容 C読むこと(1)ア、ウ、エ 言語事項(1)ウ
単 元 名	「心のきずなをとらえる」 (全7時間)
単 元 目 標	<p>読みの視点に基づいて読み進めるとともに、作品に描かれている主題について考え、人と人とのきずなについての自分の考えを深めようとする ことができる。 (国語への関心・意欲・態度)</p> <p>文章の特徴や表現のしかた、登場人物の関係の変化に注意して読み、人と人とのきずなについて考えを深めることができる。 (読む能力)</p> <p>文章中における語句の効果的な使い方や象徴的な表現に気付き、文章の特徴をつかむことができる。 (言語についての知識・理解・技能)</p>
配 慮 事 項	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫 個の学習状況に応じた多様な指導方法の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文学の読みにおいて、一人ひとりが読みの視点を明確にもって読み進めることができるよう、生徒の初発の感想を生かした読みの視点を生徒とともに作成する。</li> <li>・自分の考えの深まりを生み出すために、意見交流や教え合いを重視する。そのために、視点別グループ(4名)を編成し学習活動を進める。</li> <li>・すべての生徒が自分の意見を発表し、教え合いが成立するように、話し合いの進め方マニュアルを作成し、提示する。</li> </ul> <p>一人一人のよさや進歩の状況の評価結果を学習活動に生かす指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価規準に照らし合わせた生徒の実態や特性を記録する補助簿(個人カルテ)を作成し、生徒の実態把握と個に応じた援助をするように努める。</li> </ul> <p>【言語活動】 文学作品を読み味わうこと 【言語意識】 (相手) 同じ視点をもつ仲間と (目的) 単元全体を通じた課題を解決するために (場面・状況) グループ学習を中心として (方法) 「学習の進め方」に沿って (評価) 仲間の読みと自分の読みを比べ、自分の考えに深まりが生まれたかを自己評価する。</p>
参 考 資 料	<p>資料1：第3時の学習プリント・・・「ゼブラ」の学習の進め方について指導するために使用</p> <p>資料2：第4時の学習プリント・・・同じ視点で読んだ生徒同士のグループ学習の進め方を提示するために使用</p>

2 単元の評価規準

	ア 国語への関心・意欲・態度	エ 読む能力	オ 言語についての知識・理解・技能
内容のまとめりごとの評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館等を積極的に活用するなど、様々な文章から目的や意図に応じて情報を集めようとするとともに、読書を生活に役立て自己を豊かにしようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文脈の中における語句の効果的な使い方について理解し、自分の言葉の使い方に役立てている。</li> <li>・文章の論理の展開の仕方を的確にとらえ、内容を理解している。</li> <li>・文章の論理の展開の仕方を的確にとらえ、自分の表現に役立てている。</li> <li>・文章の構成や展開、説明や描写などの表現の仕方や、文体など文章の特徴に注意して読んでいる。</li> <li>・文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもてるようになる。</li> <li>・目的をもって様々な文章を読み、必要な情報を集めている。</li> <li>・集めた情報を自分の表現に役立てている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慣用句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句の意味や用法に注意して読み、抽象的な概念などを表す多様な語句についての理解を深め、語感を磨き、語彙を豊かにしている。</li> <li>・相手や目的に応じて文章の形態や展開に違いがあることに気付いたり、文の成分の順序や照応などについて考えたりして読んでいる。</li> <li>・単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意して読んでいる。</li> <li>・共通語と方言の果たす役割などについて理解して読むとともに敬語についての理解を深め文章中の敬語の使い方を理解している。</li> </ul> <p>[ 漢字 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2学年では、第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から350字程度までの漢字を読み、第3学年では第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。</li> </ul>
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読みの視点に基づいて読み進めるとともに、人と人とのきずなについての自分の考えをもち、自分と他者との関係について見つめようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・象徴的な意味をもつ語句が果たしている効果について考えながら読んでいる。</li> <li>・登場人物の設定の意味など表現の特徴や工夫に注意しながら読み、主人公の心情の変化をとらえている。</li> <li>・作品を読んで、人と人とのきずなについて考え、自分の意見をもっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章中における語句の効果的な使い方や象徴的な表現に気付き、文章の特徴をつかんでいる。</li> </ul>

<p>単位時間における具体的な評価規準</p>	<p>『ゼブラ』を読み、200～300字程度の感想が書けている。  読み深めていきたいことをもとに、主人公の心情の変化を核とした自分の学習課題と読み深めの視点をもっている。  読みの視点に従って自分の読みをノートに書いている。  自分の生活を見つめ、自分と人とのきずなについての考えをもっている。</p>	<p>美術嫌いのゼブラが講座に申し込んだのはウィルスンさんに対する興味の表れであることが左手の役割、会話の変化などによって表現されていることを理解している。  「今見るとちゃんとした手に見えた」には、ウィルスンさんの授業を通して今までの考え方に変化が見られ始めたゼブラの心情が象徴的に反映していることを理解している。  ゼブラの心情の変化をもたらしたものは、ウィルスンさんとの出会いであること、そして、ゼブラの心の回復が左手によって象徴的に表現されていることを理解している。  人と人とのきずなについて、自分の生活と照らし合わせて意見を書いている。</p>	<p>象徴的な表現の効果に気付いている。  象徴的な表現の効果に注意しながら読んでいる。</p>
-------------------------	--	--	--

3 指導と評価の計画（全7時間）

時	ねらい	学習活動	評価規準	評価方法	指導・援助
1	リード文を読み、自分の体験を想起しながら、起きずなどという考えをもつことができる。『ゼブラ』の範読を聞き、初発の感想を書ける。	自分の体験を想起しながら起きずなどということに対する自分の考えを交流する。  『ゼブラ』の範読を聞き、初発の感想を書く。	ア - 『ゼブラ』を読み、200～300字程度の感想が書けている。	ノート感想が書けているか評価する。	友達や家族と自分が強くつながっていると感じた体験を思い出すよう助言する。  印象に残った部分、さらに読み深めてみたいことなども含め、作品について感じたことを自由に書くように助言する。
2	『ゼブラ』の感想をもとに、読み課題を設定し、読み深めの視点をもち、読み深めることができる。	前時に書いた感想を集約したプリントを見て、読み深めていきたいことを学習課題として書き、交流する。  教師が示す学習課題案と各自の読み深めたいことを見比べ、読みの学習課題と読み深めの視点を確認する。  学習の見通しプリントに、自分の読みの学習課題と読み深めの視点を記入する。	ア - 読み深めていきたいことをもとに、主人公の心情の変化を核とした学習課題と読み深めの視点をもって	ノートゼブラの心情の変化に着目した学習課題を設定しているか評価する。 学習の計画プリント単元の学習に対する目標が明確になっているか評価する。	どんな点に感想が集中しているかに着目するように助言する。  生徒の課題意識は内容中心となることが予想されるので、教師の課題案としてどのように表現されているかという視点を提示する。
3	設定した学習課題と読み深めの視点に従って、全文を読み取り、ノートにまとめることができる。	個人の学習課題、読み深めの視点に従って、全文を読み、ノートにまとめる。 ・左手 ・ウィルスンさんとの会話 ・アンドリアとの会話 ・しま馬 ・ヘリコプター	ア - 読みの視点に従って自分の読みをノートに書いています。	ノート自分の課題を解決するために、読み深めの視点をもち自分の考えを書いているか評価する。	読み深めの視点に即した読みの方法について記述したヒントカードを用意する。
4	『ゼブラ』の第1場面(P114～P121 L13)を読み、ゼブラがウィルスンさんに関心を示し始めたこと、左手の役割、会話の変化に着目して読み取ることができる。	本時の視点を確認する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ゼブラの心情やゼブラとウィルスンさんの関係の変化がどのように表現されているか。</div> 読み深めの視点に従って読んだことを視点別のグループで交流する。 ・左手 ・ウィルスンさんとの会話 ・アンドリアとの会話 ・しま馬 読みとったことを交流をす	エ -	発言・ノー	視点別交流の進め方について説明するプリントを準備する。

		<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分と同じ左手が不自由なウィルスンさんにだんだん関心をもっていくことが「左腕のことがききたくてたまらなかった」という表現から分かる。</li> <li>会話を読むとウィルスンさんに関心を持ち始めていることが分かる。</li> <li>アンドリアとの会話を読むと、ゼブラが暗いことばかり考えていることを気にしていることが分かる。</li> <li>ウィルスンさんが書いたゼブラが動いているように思えたことにゼブラの心の変化が見られる。</li> </ul> <div data-bbox="411 629 794 797" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ウィルスンさんに対する興味がわいてきたことを表現するのに左手はどのような役割を果たしているだろうか。</p> </div> <p>左手は二人に共通する部分であり、左手にかかわる表現を追っていくと、ウィルスンさんへの興味の深まりが表現されていることが分かる。</p>	<p>美術嫌いの講義が申し込んだのイルスンさんに対する興味であるが、変化によって表れている。</p>	<p>トのまとめ 美術嫌いのゼブラが申し込んだのイルスンさんに対する関心であるが、変化によって表れている。</p>	<p>「好きではない」「申し込んだ」は矛盾しており、美術以外の部分が理由になっていることを考えさせる。</p>
5	<p>第2場面 (P121L14-P125L12) を読み、アンドリアとの会話や左手にかかわる表現に着目しながら、ゼブラの心情の変化を読み取ることができる。</p>	<p>本時の視点を確認する。</p> <div data-bbox="411 1021 794 1133" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ゼブラの心情やゼブラとウィルスンさんの関係の変化がどのように表現されているか。</p> </div> <p>第一場面におけるゼブラの心情と左手の果たした役割について振り返る。読み深めの視点に従って読んだことを視点別のグループで交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>左手</li> <li>ウィルスンさんとの会話</li> <li>アンドリアとの会話</li> <li>しま馬</li> </ul> <p>一人読みの交流をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>左手を描くというゼブラの行為や、ちゃんとした手に見えたというところに心境の変化が見える。</li> <li>ウィルスンさんは新しい見方を教えてくれた。だからちゃんとした手に見えたのだろう。</li> <li>ゼブラの作ったしま馬に対するアンドリアの評価が変化している。</li> </ul> <div data-bbox="411 1771 794 1917" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「ちゃんとした手に見えた」という表現にはゼブラのどんな心情が表現されているのだろうか。</p> </div> <p>左手は、ゼブラの心情の変化を表している。ウィルスンさんに新しい見方を教わることを通して自分の手がちゃんと思えたということが、ゼブラの心情の変化を表している。</p>	<p>エ - 「今見るとちゃんとした手に見えた」には、ウィルスンさんの授業を通して今までの考え方が変化が見られ始めたゼブラの心情が象徴的に反映していることを理解している。</p> <p>オ - 象徴的な表現の効果に気づいている。</p>	<p>発言・ノート のまとめ 「今見るとちゃんとした手に見えた」という表現がゼブラの心情の変化を象徴的に表現していることをとらえているか評価する。</p>	<p>第1場面を構造的にまとめた掲示物を準備し、前場面のゼブラの心情の変化と左手の関係を想起させる。</p> <p>「ちゃんとした手に見えた」という左手にかかわる表現が、ゼブラのどのような心情と結びついているのかを考えるよう助言する。</p>



4 単位時間の授業展開例

(1) 本時のねらい

第3場面 ( P 1 2 5 L 1 3 ~ P 1 3 2 L 6 ) を読み、ウィルスンさんとのかかわりの中でゼブラの生き方が前向きになったことを、左手の表現やアンドリアとの会話に着目して読みとることができる。

(2) 本時の位置

6 / 7 時

(3) 展開案

過程	学 習 活 動	形 態	評 価	指 導・ 援 助
導入	前時までの流れと本時の読み深めの視点を確認する。 ・左手への着目 ・アンドリアとの関係への着目	学級全体		
展開	<p>視点別グループで自分の読みを交流し、その後学級でそれぞれの読みを交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ゼブラの心情が前向きに変化したことがどのように表現されているだろうか。</p> </div> <p>視点 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">左手</span>      <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">しま馬</span>      <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">アンドリアとの</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ヘリコプター</span>      <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">会話</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・左手も使っている</li> <li>・曲がったまままだ二本の指が少しだけ伸びている</li> <li>・少しよくなってきた</li> <li>・心ひかれるもの = ヘリコプター = ウィルスンさん</li> <li>・山と川と台地の上を飛んでいくヘリコプターとしま馬 = ゼブラ自身</li> <li>「ちょっとその指...」</li> <li>・目が...輝いた。うれしそうな表情</li> <li>「明るい人生」</li> <li><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ウィルスンさんとの会話</span></li> <li>「君に会えてよかったよ。」</li> <li>・すばらしい贈り物</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓                      ↓                      ↓</p> <p style="text-align: center;">あの通りを歩いてみよう</p> <p>ウィルスンさんとの出会いを通して、ゼブラの指が回復していくとともに、ゼブラの生き方がどんどん前向きになってきている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>左手の変化はいったい何を表していたのだろうか。</p> </div>	<p>視点別小グループ</p> <p>学級全体</p> <p>学級全体</p>	<p>エ -</p> <p>ゼブラの心情の変化をもたらしたものは、ウィルスンさんとの出会いであること、そして、ゼブラの心の回復が左手によって象徴的に表現されていることを理解している。</p> <p>・発言・ノート のまとめ ウィルスンさんとの出会いの中で心情が変化したことと左手やアンドリアとの会話をかかわらせて説明できているか評価する。</p> <p>オ -</p> <p>象徴的な表現の効果に注意しながら読んでいる。</p> <p>・発言・ノート のまとめ 左手の変化にゼブラの心情の変化が表れていることに気付いているか評価する。</p>	<p>仲間のノートを見合いながら、自分では読めていなかった部分については、筆記用具の色を変えて付け加えるよう助言する。</p> <p>1、2場面の板書（場面の心情の変化を簡潔に図式化し、画用紙に書いたもの）を示し、「ゼブラの心情の変化」「左手の変化」「ウィルスンさんとアンドリアとの会話」を対応させた構造的な掲示物を示し、左手にかかわる表現の変化などがゼブラの心情の変化を表していたことを確認する。</p>
終末	<p>作者が描いているのはゼブラがウィルスンさんとの出会いを通して変わっていったことだ。左手が回復していく様子をとこところにちりばめてあるが、それがゼブラの気持ちが前向きになっていくことと重なっている。左手の回復は、単にけがの回復ということではなく、ゼブラの心の傷がだんだんと回復していくということを表しているのだと思う。</p> <p>本時のまとめを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習で深まった自分の考えをまとめとして書く。</li> </ul>	個人		<p>左手の変化とゼブラの心情の変化が対応していることが分かる掲示物を示す。</p>

## 5 評価の実際と個に応じた指導事例

### (1) 本時重点的に取り上げた評価規準

エ -

ゼブラの心情の変化をもたらしたのは、ウィルスンさんとの出会いであること、そして、ゼブラの心の回復が左手によって象徴的に表現されていることを理解している。

### (2) 評価の実際

【評価方法】発言・ノートのみ

【判断した生徒の状況例】

「左手の変化は、いったい何を表していたのだろうか。」というまとめの問いに対して

「作者は左手を描くことを通して私たちに前向きに生きることの大切さを伝えたかったんだと思う。ゼブラは事故に遭った左手のことですごく悩んで、暗くなっていたけど、ウィルスンさんとの出会い、美術の授業、アンドリアとのかかわりなどを通して変わっていった。そして、左手のけがが回復していく様子を描くことを通して、ゼブラが前向きになっていったことも同時に表現していた。」というまとめを書いたA子は「おおむね満足できる状況」にあると判断した。

評価規準と照らし合わせたとき、ウィルスンさんとの出会いの中で、変化していったゼブラに言及していること。また、ゼブラの心情が変化していることと傷の回復を重ねて考えているという点で、おおむね満足とした。

「ゼブラに左手が不自由でも、ウィルスンさんはがんばっているんだから、ゼブラもがんばれって思って書いていたと思った。」と書いたB子。

「けがは自分の力だけでは治らないと言っていると思う。ちゃんと励ましてくれる人がいたからこそ、左手が治るか分からないと言われていたけど治ったと思うし、ゼブラはウィルスンさんを見習っているのだと思う。」と書いたC男は「努力を要すると判断した状況」にあると判断した。

B子の場合、作者が「左手」を意図をもって描いていることに着目することができていない。また、ウィルスンさんとの出会いの中でゼブラが前向きになっていったことにも触れることができていない。C男もやはり「左手」の表現意図に触れることができていない。

### (3) 個に応じた指導の実際

上の のような読みをする傾向にあった生徒に対して、「ゼブラの気持ちの変化」、「左手の変化」、「ウィルスンさんやアンドリアとの会話」を対応させた構造的な掲示物を示した。その中で、左手の変化が何を表現しているのかに気付かせ、まとめの感想文を書くように指示した。また、個別に援助をし、その中で「左手の役割」、「ゼブラがなぜ変わったのか」について感想文に必ず入れて書くように指示した。

その結果、感想文を書く際には、ゼブラの心の回復が左手の回復によって象徴的に表現されていること、そして、その回復をもたらしたのはウィルスンさんやアンドリアなどゼブラを取り巻く人々との出会いであったことが書けた。